

藤原宮第75次調査 地元説明会資料

1994年5月19・20日

奈良国立文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部

1 概要

市道飛驒木之本線建設に伴う事前発掘調査で、昨年度末に実施した藤原宮第74次調査区の西延長上に当たる。平成6年4月4日より重機掘削を開始。調査面積は約1500㎡（5月19日現在）。調査地は藤原京左京七条二坊東南坪の西端から西南坪に該当する。

2 主な検出遺構

東二坊坊間路－75次調査区の東端で検出。西側溝は明確だが、東側溝は痕跡を残すのみ。道路幅は約8m。

旧河川－75次調査区の中央やや西寄り検出。南東から北西に向かって流れる。古墳時代から藤原宮の時代まで機能しており、当調査区では2条となっていた。

井戸4基－旧河川の東に接して2基、西に接して1基、東二坊坊間路の東に1基。旧河川の西側の井戸は飛鳥時代。

掘立柱建物3棟－飛鳥時代・藤原宮の時代・平安時代の建物各一棟。

溝2条－藤原宮の時代の河川から北西に向かって流れ出る小溝。

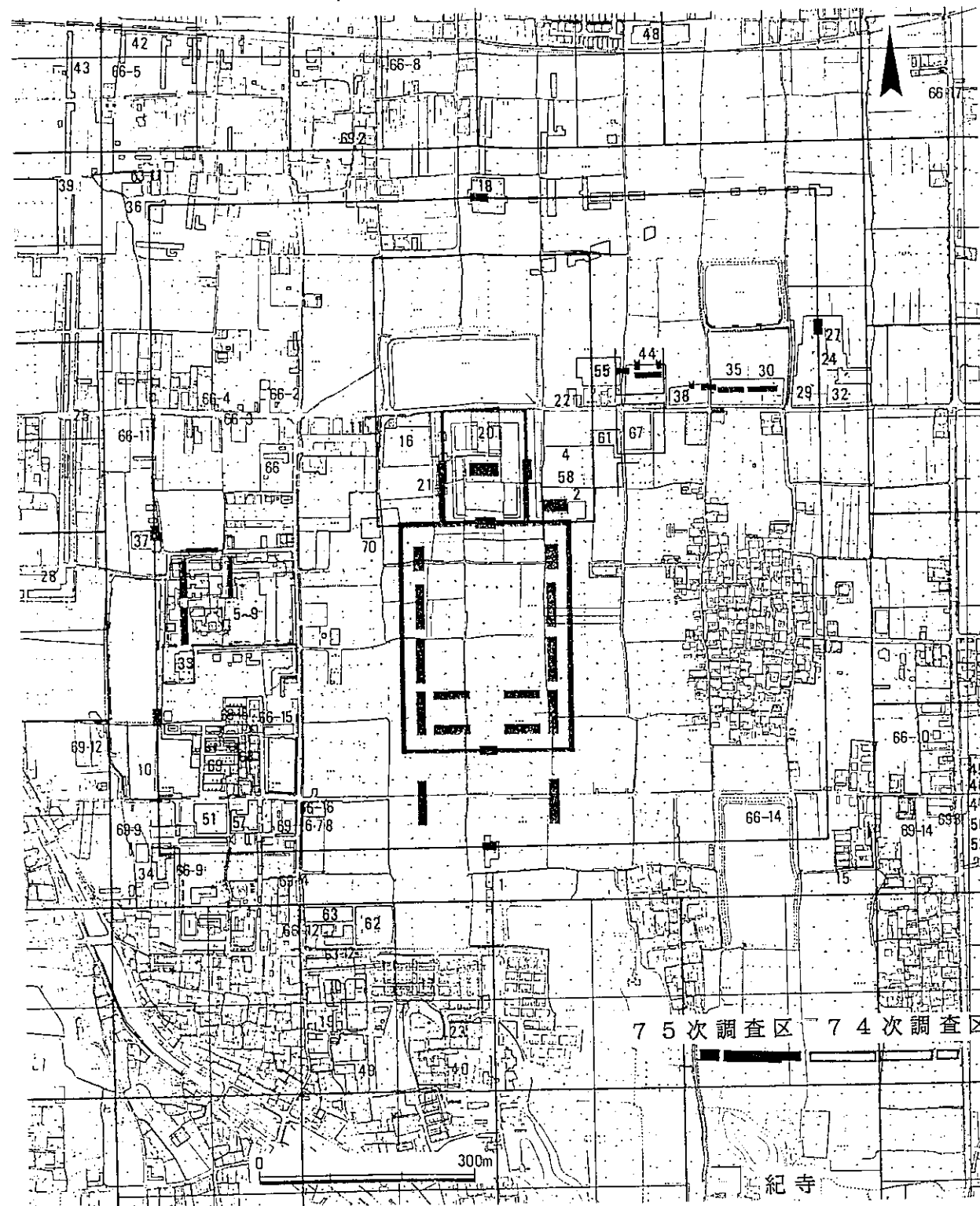
飛鳥時代の井戸から西へ20mほど流れて北へ曲がる小溝。古くは石組溝であった。

3 主な出土遺物

土器－飛鳥時代・藤原宮の時代・平安時代のものなど少量

瓦－南にある紀寺の瓦が少量

木器－古墳時代の木鉢・机の天板など



遺構概略図

